留学生が小学生との交流、ボランティアとの食文化交流を実施

学院 東部

6月29日(火)、YMCA学院日本語科中級クラスの学生25名が一新小学校の4年生(写真上)と、また、7月3日(土)は初級クラスを中心とした学生16名が、日頃お世話になっている会話ボランティアや革工芸クラブのボランティアの皆さん14名とそれぞれ交流の時を持ちました(写真下)。

4年目を迎えた一新小の生徒との交流では、子どもたちが劇や紙芝居で熊本の地下水についての紹介があり、その後、留学生が中国や韓国、ラオスの水事情について質問を受けました。また、中国語の歌やゲーム、中国式鬼ごっこをして遊び、一緒に給食を食べた後も折り紙やゲームをしました。帰る間際、子どもたちから「謝謝(シェイシェイ)」「再見(ツァイチェン)」の嵐を受けた留学生は、日本の教育を知るいい機会になったと喜んでいました。

一方、ボランティアとの交流会では、食文化の交流をテーマに大学生が中心になって「水餃子と巻寿司作り」を企画。留学生の干昆侖(ウ コンロン)さんが10歳から習っているという二胡の演奏を披露するなど、美味しく楽しい交流となりました。

東部YMCA 山本昌子

研修を通じ、新たな出会いと学び

YMCA

7月1日(木)～2日(金)、広島以西のYMCAの職員が集い春季「三水会」が北九州市で行われ、熊本YMCAから職員5名が参加しました。今回は、北九州ホームレス支援機構の理事長を務める、東八幡キリスト教会牧師の奥田知志さんの講演を通じて、ホームレス支援の現状などについて理解を深めました(写真上)。奥田さんは、「使命は夢や目標ではない。自分の考えや都合を一部断念し、それに身を委ねることができなくてはならない」と語り、活動に携わる人々の思いや姿勢を学ぶきっかけになりました。

また、7月5日(月)～9日(金)には、熊本YMCAと姉妹関係にある韓国・大邱(テグ)YMCAから職員の短期研修を受け入れました。今年は、大邱YMCAのジョン・ソン・ヨンさん、グ・ユン・ジョンさんに加え、大邱YMCAと交流関係にある氷川YMCAのホン・ウン・ジョンさんも来熊。3名は4日間を通し熊本YMCAの各施設を訪問し、プログラムを見学するなどして過ごしました。YMCA学院高等学校では、韓国・釜山の大学に留学中の卒業生が高等学校について説明。また、水前寺幼稚園では、園児たちと手遊び等で交流し(写真下)、「子どもたちがかわいかった」「楽しかった」と一同喜んでいました。

アガペ No.53

総主事 堤 弘雄

世界の仲間と共に

この原稿は香港で行われている世界YMCA大会の会場で書いています。ここはウーカイシャという1500人以上収容できる香港YMCAの青少年センターです。今年、東エルサレム、マカオ、ロシア、ベラルーシの4つのYMCAが世界YMCA同盟に新たに加入し、YMCAは世界に約130の国と地域に存在することになりました。

今回は85カ国1134名のYMCAのユースリーダー、役員、職員が参加しています。熊本YMCAからは熊本大学学生YMCAから2名、YMCA国際ユースボランティア1名、私を含め職員2名の合計5名が参加しています。参加している世界中のすべてのYMCAに共通していることは、聖書が示す愛と平和を希求し、世界中の人々の“いのち”が大切にされる社会を共につくることにあります。

国連の代表の基調講演によると、世界には15歳から24歳のユースが12億人いて、これは世界の人口の18%にあたり、この若い人々のうちの2億人以上が1日1ドル以下で生活し、5億人以上の若い人々が1日2ドル以下で生活しているそうです。経済危機により若者の失業は、史上最悪の8300万人に到達しました(これは世界の失業者数の40%近く)。若者が高い確率でHIV／AIDSに感染していることは課題ですし、1億3000万人の若い人々が教育を受けていません。これは世界の若い人々の約11%にあたるそうです。YMCAは日頃この課題に取り組み、その活動を高く評価され、更なる国連との協力強化を求められました。

世界のYMCAは青少年を地球市民として育成することを目指しています。世界の課題を認識しながら自分の住む地域の課題解決に取り組むことのできる人材をつくりだそうとしているのです。最後に、この大会に参加されている地震で被害を受けたハイチのグエナウェルYMCA総主事と熊本YMCAが子どもたちと取り組んだ街頭募金の話をしました。ご協力いただいた皆さんに大変感謝されており、よろしくお伝えくださいとのことでした。

阿蘇3保育園着衣泳体験

赤水 尾ヶ石 永草

■開催日時／2010年7月8日(木)9時45分～11時半
■開催場所／アゼリア21温水プール

赤水・永草・尾ヶ石の阿蘇3保育園合同のサバイバルスイミングが行われました。保護者が見守る中、4・5歳児約70名がYMCA健康教育部のスタッフの寸劇によって、水難事故防止と対処法について学びました。その後、実際に着衣泳を体験し、Tシャツを脱いで、着た時との違いも感じました。この夏、水遊びを楽しむために、貴重な学びの機会となりました。

永草保育園 前田茂子

大盛況！ 上通ゆかた祭

上通

■開 催 日／2010年7月17日(土)～18日(日)
■開催場所／上通アーケード

中心市街地活性化事業の一つである「第6回城下町くまもとゆかた祭」に、今年も上通YMCAが参加しました。上通アーケードでの総合案内を行うと共に、タイ山岳少数民族の子どもたちの支援や国際協力募金のためのバザーも行いました。また、上通YMCA館内にボランティアによる着付けステーションを設置して、両日200名の来館がありました。参加したボランティアも延べ30名以上にのぼり、にぎやかな夏のお祭りを通して、地域一体の取り組みができました。

上通YMCA 古閑智憲

スポーツ　野外活動　語学　生涯学習　発達障がい支援　キリスト教　キャラクターディベロップメント　取り組み　行事

YMCA全体　中央YMCA　赤水幼稚園　尾ヶ石保育園